

経済産業省・独立行政法人情報処理推進機構選定「地方版IoT推進ラボ」

恩納村IoT推進協議会が、「地方版IoT推進ラボ」に選定されました

第1弾 2016年7月 29地域選定 第2弾 2017年3月 24地域選定
第3弾 2017年8月 21地域選定 第4弾 2018年9月 19地域選定
第5弾 2019年9月 8地域選定 地域ラボ総数 101

沖縄総合事務局管内（3）

- ・沖縄県
- ・沖縄市
- ・恩納村

経済産業省・独立行政法人情報処理推進機構は、選定を受けたラボに対して支援を行います

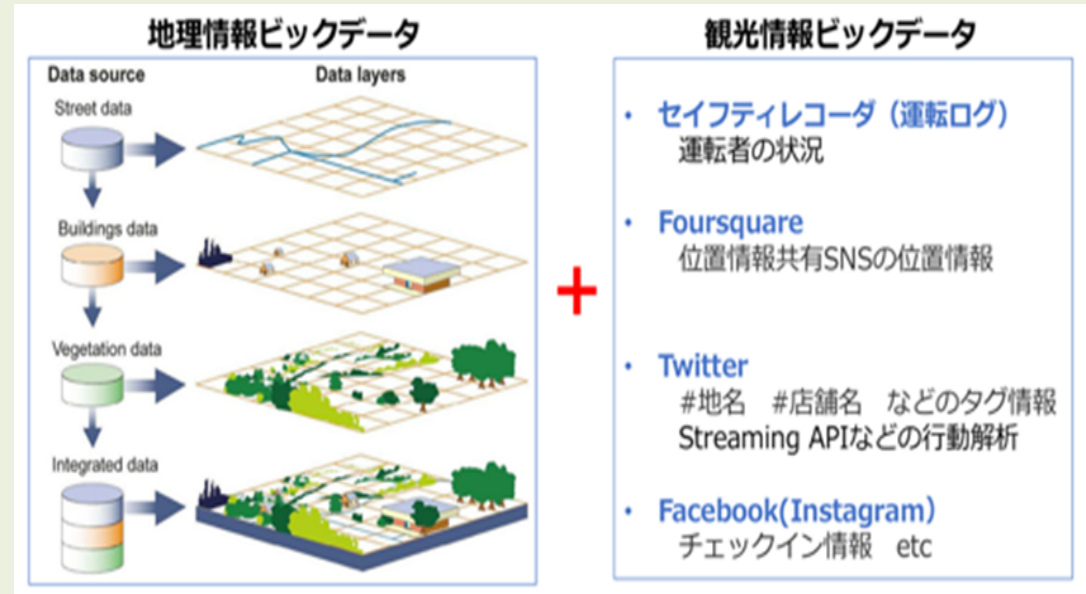
■ 沖縄県恩納村

・恩納村で起きている事象に関する情報（空間情報）を集めて編集・分析し、村民に共有することにより、「問題解決のために協力しあう社会」「課題解決に向けて賢くなっていく社会」を実現することを目指す。

・IoT/ドローン等から得られる地域の環境・地理情報等の空間データの分析・アプリケーション開発を行う。

【取り組む事業例】

- ①観光・地理・気象に関連する埋もれたデータの管理・活用に向けたコンソーシアム設立
- ②海洋IoTプラットフォーム（位置情報を活用する情報プラットフォーム）の構築
- ③環境保全・観光目的に海岸線・海底の地理データ取得
- ④データ分析・開発技術を持つエンジニアの育成



事業の内容

事業目的・概要

恩納村IoT推進協議会は、IoT/ドローン等から得られる地域の環境・地理情報等の空間データの分析・アプリケーション開発を行う。本事業の成果は観光、地域の防災、さらに農林水産業の支援に役立ち、恩納村のSDGsに関わる施策に活用する。

重要業績評価指標 (KPI : 5年以内の取り組み)

- 沖縄県内企業と研究組織が取り組む観光、地域の防災、さらに農林水産業事業支援を目的としたデータ分析サービスの開発を行う組織（恩納村コンソーシアム(仮)）作り。
- 観光・環境保全アプリケーション開発は3件とする。

今後の展開

参加企業は、集積された環境・地理情報をもとに農林水産業、観光および防災に対応する製造技術・アプリケーションを作成し、システム利用料による有益事業を立ち上げ、自立化をする。

事務局

- 恩納村IoT推進協議会 (任意団体)

参加プレイヤー

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ● 沖縄気象台 | ● 沖縄セルラー電話株式会社 |
| ● 恩納漁業協同組合 | ● (株)沖縄エネテック |
| ● 恩納村GM(総支配人)会 | ● (株)りゅう |
| ● 恩納村ダイビング協会 | ● (株)マキノハラボ |
| ● 沖縄GIS協議会 | ● (株)レキサス |
| ● (株)OTSサービス経営研究所 | ● (株)沖縄環境分析センター |
| ● (株)okicom | ● 琉大 姜准教授(個人) |
| ● (株)国建 | ● 琉大 中村准教授(個人) |
| ● (株)Nansei | ● 恩納村(オブザーバー) |

事業イメージ

IoT/ドローン活用による地域産業振興

協議会会員の保有する恩納村に関する活用可能なデータ
沖縄気象台, 沖縄GIS協議会, (株)国建, (株)Nansei, (株)沖縄エネテック等

協議会会員のデータ解析技術を応用
琉球大学(個人会員)
(株)マキノハラボ
(株)okicom

● 地理空間データ
地理情報
位置情報

● データ解析技術
機械学習、通信

共同研究
(株)okicom,
(株)Nansei
NICT

恩納村IoT
推進協議会

内閣府H30年度
沖縄型産業中核人材
育成事業

内閣府R1年度
沖縄型産業中核人材
育成事業

✓ 位置情報を活用した
ドローン技術開発

✓ エンジニア育成

「データ模合」恩納村コンソーシアム(仮)

社会的イノベーションモデルの構築

● 恩納村GM会
● 沖縄セルラー
● OTS (サ研)
(観光振興)

● 恩納漁協
● 恩納村ダイビング協会
(環境保全)

恩納村 (オブザーバー ; 事業PR・連携強化)

現状

環境分野



赤土流出、海水温上昇により
恩納村のシンボルである

サンゴの村宣言 サンゴの白化現象が進行中…

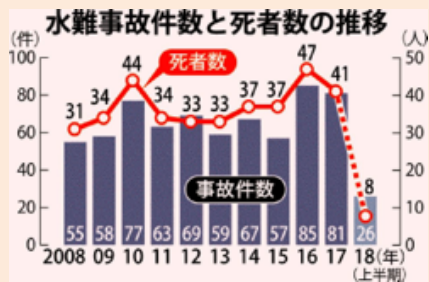


恩納沖サンゴ白化

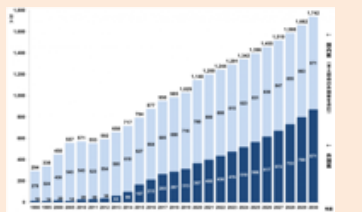
<2016年8月11日付沖縄タイムス>

観光分野

沖縄への入域観光客数と
インバウンド比率が増加の一途…



<2018年8月17日付沖縄タイムス>



<OCVB発表 沖縄入域客数見通し>

観光客の水難事故はシュノーケリングやダイビング中の事故が多数

水産分野

特産品モズクの生産量が逡減…ドローン等による海洋観測と海洋環境の分析の必要性



SDGs安心・安全リゾートの創造

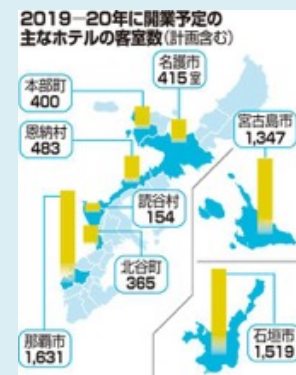
近い将来の課題

サンゴの白化・死滅により、
美しい海の魅力が失われる…

漂着ゴミ対策(マイクロプラスチック)



新たに3ホテルが開業予定…
(村内大型リゾートホテル15⇒18軒)



<2019年1月1日付琉球新報>

観光地・ダイビングスポットの混雑
が顕著となりオーバーツーリズムへ…

インバウンドや経験の浅いダイビング
客が増え、更なる事故増加が懸念…



位置情報を活用した海洋技術開発

- 漁業者
(漁船における海中転落事故の救助)
- 観光客の分散管理(環境保全)
- 海の安全
(IT技術によるレジャー保険の商品開発)